



第1回 SF 大阪フォトコンテスト



2017年SF高校生アンバサダーたちが、大阪滞在プログラムの中で与えられた課題（姉妹都市の見える化）に挑戦し、その過程で、もっと大阪の高校生たちとのコミュニケーションを楽しみたいと、この大阪SF”架け橋”フォトコンテストを提案され、融合写真はSNS上でつながり、SF・大阪 高校生・ユースアンバサダーで2つのチームとなり双方で相談しあって完成しました。

大阪サンフランシスコ・ユースコネクト（SOYNET）では、大阪市姉妹都市交流推進事業助成金も得て、サンフランシスコに派遣団を送り、大阪市・サンフランシスコ市姉妹都市締結60周年記念を祝う成果を得ました。派遣団は9月21日にサンフランシスコ（以下SF）に入り、25日までの滞在期間中、SF大阪姉妹都市協会（SFOSCA）関係の皆さまやSF日本町、そしてこれまでのSF高校生アンバサダー、桜まつり女王らとそのご家族、友人の皆様から暖かい歓迎を受け、予定されていたすべてのミッションを終え帰国しました。

- 21日 関空出発 SF到着 阪大北米センター訪問
- 22日 SF市庁舎訪問、SF大阪まつり準備
- 23日 SF大阪祭り（JAPAN TOWN PEACE PLAZA）
- 24日 SF市内観光
- 25日 SFOSCA 歓迎昼食会
- 26日→27日 帰阪

2017 今後の予定

10月10日 ～31日	SF 大阪 架け橋 フォト写真展・ハルカス展 あべのハルカス近鉄本店5F ウォールギャラリー
10月21～ 25日	SFOSCA 来阪 10/22 大阪サンフランシスコ祭 10/23 大阪市庁舎表敬訪問 ほか

サンフランシスコ市庁舎訪問

9月22日(金)



大阪側から・・・

SOYNETの活動やアンバサダーの3つのミッションを説明



サンフランシスコ側から

昨夏、吉村市長がサンフランシスコを訪問された際に姉妹都市交流の予算を持ち、来年の春に大阪の5人の高校生をサンフランシスコに送り出すことを再開する約束をされたとのことをうかがい、これからも持続可能な関係にするためには青年同士の交流が大切だと話してくださいました。

●着物の着付けを自分で行き市庁舎を訪問しました。市庁舎の方々にも喜ばれ、また同じSOYNETのメンバーにも一人で着たことに関して褒められ、嬉しかったです。着付けの練習をして本当に良かったです。

市庁舎の建物は本当に綺麗で、結婚式をしているカップルも多数見受けられました。International roomという特別な部屋に通していただいたり、バルコニーに出させていただいたりと普段はできない貴重な体験をさせていただきました。あとで、桜祭りのプリンセスとお話した際に、本当に特別な経験をさせていただいていたのだと、痛感いたしました。(S)



歴史あるサンフランシスコ市庁舎の市長室では過去の協定記念品なども拝見することができ感銘を受けました。50周年の際に寄贈されていた小学生の手紙入りのロボットと並び、姉妹都市締結60周年の記念品として“帯のタペストリー”が並ぶかと思うと嬉しいことです。



市庁舎内を案内され、1957年アイゼンハワー大統領の来日が出来なくなったため、直接大統領からサンフランシスコ市長に電話があり、国レベルではなく都市間での交流をすすめ、大阪市とサンフランシスコ市の姉妹都市提携に至った経緯、その歴史をうかがいました。その持続している60周年の中にいることを誇りに思いました。



大阪大学サンフランシスコ北米センター訪問

9月21日(木)



長谷川先生、北米センターの事務の方、イノ先生とデビさん、にお会いしました。

日本でもお会いしていた先生と会えたことで、SFにいたのですが、アットホームな印象を受けました。



架け橋フォトコンテスト
会長賞

サンフランシスコ大阪まつり

前日準備(22日)

市庁舎訪問後、急いで着替えを済ませ SOYNET の T-シャツに身を包み、日本町へと祭りの準備の為出かけました。倉庫から、木材を出し、やぐらを組み立てました。日本でも私は、やぐらの組み立てということはしたことがなかったので、とても興味深かったです。

組立後は、大阪祭りの宣伝をするべく、写真コンテストに来てもらえるよう、商店街の方々をお願いに上がりました。商店街の方々は皆優しく、気さくな方たちばかりで、こちらからお願いをしなくても、ビラをショウウィンドウに貼ってくださるなど、大変協力的で優しい方ばかりでした。商店街の方たちの温かい心に触れることができ、祭り前に幸せな気持ちになれました。(S)



9月23日(土)

サンフランシスコ大阪まつりは9月23日、開会式で大阪市長祝辞を伝達、SOYNET 日本文化体験ブースは着物リメイク展、お香・Tシャツ販売、書道体験ワークショップ、日本文化発信ブースなど終日大盛況でした。また、日米の高校生たちの提案による第1回大阪 SF 架け橋写真コンテストや SOYNET 写真展も大成功のうちに終わることができました。



第1回大阪 SF 架け橋写真コンテスト

フォトコンテストでは Celine と Elizabeth と白川さんと4人で見に来てくださる方に説明して投票していただきました。サンフランシスコの方に大阪を知っていただく良い機会になりました。

このフォトコンテストは、SF アンバサダー来阪時の8月2日に、大阪大学情報科学研究科 (HWIP) 細田先生の授業で Celine が提案してくれました。

お別れパーティーの時に Celine (Abraham Lincoln High School) と阿倍野高校[AA チーム]



Abraham Lincoln HS のみなさん

と Elizabeth (George Washington High School) と住吉高校チーム[GS チーム]を作り、彼女たちの帰国後に SNS の LINE を通じて連絡を取り合い、写真を完成させました。私は AA チームに加わり、Celine と阿倍野高校の生徒の方々と一緒に写真を作成しました。阿倍野高校の方は英語ができるので言語の壁はほとんどありませんでしたが、大阪祭りまで時間があまりなく、さらにそれぞれに学校の活動が忙しかったので、その点では大変でしたが、時間を見つけて写真を撮り、合成させてなんとか完成させることができました。私たちのチームの中で一番票を得られたのは、きれいな建物や風景の写真ではなく、人々が行き交う商店街の写真でした。大阪の人とサンフランシスコの人が写真の中で交流しているみたいで、その写真を見て、もっと両市民がこの写真のように交流できればいいなと思いました。



AA チーム 優秀賞



GS チーム 優秀賞



サンフランシスコ市内観光

9月24日(月)



私が観光中に一番びっくりしたことは、ガイドさんがおっしゃっていた、サンフランシスコに年間1700万人もの観光客が来るといことです。サンフランシスコは古い昔の街並みそのまま残っており、Twin peaks という小高い丘の上から見た風景はととてもきれいでした。歴史のある街中では、セグウェイや2人乗りの最新の乗り物が行き交い、昔と現在が融合していてとても新鮮でした。また良い面とは反対に、路上ではたくさんのホームレスの方がいて、サンフランシスコの富裕層の方との経済格差の問題も知ることもできました。サンフランシスコの良い面も悪い面も知ることができたのは、関係を持続していくうえで重要なことだと感じました。(N)

今回、soynet のメンバーとして大阪・サンフランシスコ姉妹都市 60 周年のイベントに参加することができて楽しかったです。大阪まつりでは現地の方々が楽しそうに習字をしてくれて私も嬉しかったです。改めて習字をすることも、英語を使ってコミュニケーションをとることも好きだなと感じました。また、自分の英語はまだまだだと実感しました。

本当にサンフランシスコでの 1 週間が貴重な経験になりました。(M)

Jr. アンバサダーとしてサンフランシスコ大阪祭りでは、書道のことを教えることができて嬉しかった。長年学んできた自身の書道の技術が海外で発揮できたことに驚きで、多くの方が書道のブースを訪れてくれて、喜んでくれたことに感激でした。

盆踊りでは国の国境を越えて人々が一緒に踊り、盛り上がるのができた。真昼の盆踊りは初めてで何か新鮮であった。友達もできた。彼らが日本へいつか来てくれたら良くしてもらったので最高のおもてなしで出迎えたい。いつになるか彼らが日本へ来てくれることが楽しみです。

ソイネットの皆様に出会わなかったらこのような経験をできることは人生で二度となかったであろう。また、現地ではたくさんの素敵な出会いがあった。英語や日本語で多くの人々と話をし、交流ができた。サンフランシスコでの約 1 週間の旅のことは一生忘れないでしょう。

できたら来年のサンフランシスコ大阪祭りに参加したいと願っています。(U)

大阪祭の持続を願って SOYNET T シャツ販売

ソイネットの意味や T シャツの利益の使い道などを英語で説明し販売することは大変でしたが、普段できることではないのでとてもいい経験になりました。今回参加させていただき、現地の方がお祭りをとても楽しみ喜んでいる姿がとても印象的でした。この大阪まつりが継続して行われることを願っています。(A)

今回サンフランシスコ大阪祭りに参加し書道のワークショップのブースをまかせていただきました。

日本から団扇 折り紙の切り絵 それに木のネームタグを準備していきました。どのくらいの方が来られるのか、また興味をもっていただけるのかと心配しておりましたが、その心配は杞憂に終わりました。なにをしているところかわかるよう テントに看板の代わりに三枚の団扇を貼り、又 大仏のお面も飾って日本の雰囲気を出してみました。始まってすぐ長蛇の列ができました。あっという間に団扇がなくなり仕方がないので画用紙や色紙に書いて折り紙を貼って、それだけでも喜んでくれました。結構寒くて浴衣の下にヒートテックとズボンをはいていましたが 皆さんの熱気が伝わってきて本当に楽しいワークショップでした。(K)



高校生写真コンテスト、という目玉企画には次々に高校生らの友人や祭りにやってこられた方々が投票をしていって下さり、盛況でした。

前回の高校生アンバサダーであったマツト君やそのお姉さんや 2015 年アンバサダーのジェーンさんとお母さんも駆けつけてくれ、新旧の高校生アンバサダーが一同に集まる形となりました。

特に盆踊りの時に凄いい数の人が訪れていて、こんなにも日本のことが好きな人が SF にいるのだということを実感することができました。(S)

Mr 大阪コンテスト

ミスター大阪コンテストに参加し、優勝は逃したものの、ジョークも交えつつ SOYNET の宣伝や大阪の魅力を伝えることに貢献できたと思います。さらに大阪大学に留学していたカリフォルニア大学の学生ともコンテストで知り合うことができました。(Y)

サンフランシスコ大阪姉妹都市協会歓迎昼食会

9月25日(火)



帰国前日、最後の締めにはSF 大阪市姉妹都市協会を訪問いたしました。

私たち、アンバサダーには久保井先生より3つのミッションが与えられていました。

- ① 楽しむこと
- ② 友達を多く作ること
- ③ プロポーズ、行動を起こすこと

一つ目と二つ目のミッションはクリアできたと思います。参加させていただいたどのイベントも楽しいもので、いい思い出、語れる思い出と共に帰国できたと信じています。また、大阪で出会ったSF市民の方々の多くと又再会できたり、新たに友人の友人などと輪を広げていくこともできたと思います。

三つ目のミッションが一番難しく、私が出した答えは、日米学生会と絡めてUCなどに留学に行っている学生らと連携をし、留学生生活をレポートすることです。

また、今回の写真コンテストで仲良くなった高校生らの友人関係が続くようにサポートしていくことだと思っています。(S)



大阪・サンフランシスコ・ユースコネクト (SOYNET) 2017 サンフランシスコ渡航団

ユース・アンバサダー：白川優希、長藁幸代、吉田健悟

Jr アンバサダー・書道大使：上ノ森彩音、三島彩加、富澤 敦

久保井亮一、寺西チエコ、寺西興一、久保井廣代、川崎稚子、長藁成五、富澤裕美子

太平洋に架け橋！ ユース交流を持続可能へ

10/5 Edwin M. Lee サンフランシスコ市長からの親書を 吉村大阪市長へ！



大阪市庁舎に行き、サンフランシスコ市長からの親善交流のお手紙をお届けしてきました。また第1回SF大阪架け橋フォトコンテストの写真もお届けしましたが、鍵田副市長もその素晴らしい出来に感心されていました。日米の高校生たちがコミュニケーションを楽しみながら、多様性の極致のような両市の間に、また限られた時間の中で、これだけの相似性を発見し、“見える化”したことは特筆すべきことと思います。あべのハルカス近鉄本店5階ウォールギャラリーに10日から31日まで展示予定ですので、皆さまよろしくお願いたします。

SF市長も指摘していますが、60年にも及ぶ姉妹都市交流の実績は市民間の交流の賜物であり、これを大事に積み上げていく中で、また高校生や青年たちのネットワークの成長の中で、今は解決が困難と思えるような問題も、それほど遠くない将来、必ず解決できることを実感できた、SFでの素晴らしい1週間でした。両市の皆さまがたの暖かい応援に心より感謝申し上げます。(SOYNET代表 久保井亮一)

目的

- 日米、大阪サンフランシスコ市民相互の草の根交流を持続発展させ、太平洋を結ぶ青年グローバル・リーダーを育成する
- 伝統や地域の再発・相互理解の機会を創出し、持続可能な地球社会の発展に寄与する
- 青年派遣を含めサンフランシスコ大阪まつりの持続開催を支援することを目的とする

協賛・協力団体

サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会(SFOSCA)
大阪大学 北米の会、大阪大学日米学生会
大阪大学サンフランシスコ北米センター
サンフランシスコ日本町大阪まつり実行委員会
ユネスコ・スクール：清明丘小学校 地域園芸クラブ
住吉高校、阿倍野高校、エリーニ・ユネスコ協会
NPO法人木育フォーラム、NPO法人ゼロワン
おせっかい研究所、清明丘青少年指導員
王子商店街、清福堂、なにわ未来遺産フォーラム
清明丘寺子屋教室、大阪府登録文化財所有者の会、
図書ボランティア：竹トンボ

後援 大阪府ユネスコ連絡協議会

事業

- 地域祭り”どっぷり昭和町”(4月29日)などに参加、草の根 親善交流・広報を行う。
- SF高校生アンバサダー、桜まつり女王受入 歓迎交流 大阪 SFまつり他を行う。
- SF日系青年主導・SFOSCA支援企画 “SF大阪祭り”参加 交流・支援他を行う。

大阪市サンフランシスコ市姉妹都市締結60周年記念
サンフランシスコ派遣団渡航にあたり、大阪市姉妹都市
交流推進補助金をユース渡航費の一部に充当しました。

SOYNET 会員募集中

楽しい交流行事に 参加しませんか？ (何口でも可)

会員：正会員は年額 2000 円

学生会員は年額 500 円

協賛・賛助会員 団体 募集中

企業 団体等 賛助会員：年額 5,000 円 (何口でも可)

寄付金：本会の設立 および 運営のための寄付金

その他、協賛品等 歓迎(事務局へご連絡ください)

SOYNET 事務局

大阪サンフランシスコ
ユースコネク

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 1-50-25 寺西家阿倍野町家内

info@soynet.osaksas.jp

TEL:06-6624-7618 FAX:06-6622-6499

●振込先 ゆうちょ銀行 記号 00950-2-332951

四一八(ヨンイチハチ)支店 (店番 418) 普通 332951 【口座名義】ソイネット